

# 持続可能な農村集落の維持・向上と

# 新たな産業振興に向けた対策手法の確立

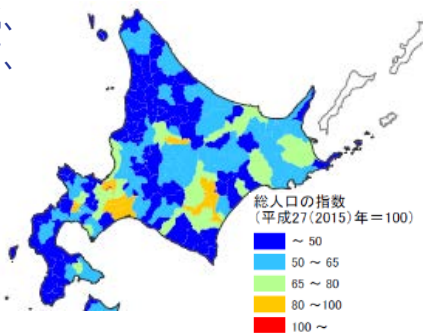
担当研究本部：農業、建築、産業技術、森林、環境・地質

## 背景

少子高齢化・人口減少の進行による  
地域課題

市町村財政の悪化、  
生活利便性の低下、  
産業の衰退

地域維持・運営が  
困難



## 目標

資源（人・財・物）が循環し、  
安心して豊かに暮らし続けられる地域へ

公助と共助による集落の構造・運営の再構築

インフラ・集落ネットワーク  
など再編による地域域運  
営の効率化・生活維持

暮らし

地域資源（人・財・物）を  
生活サービス・産業育成へ

暮らしと産業の好循環

(人・財・物の域内循環)

適切な事業評価  
による選択と集中

産業

産業・雇用の創出  
による税収増

地域資源を活かした波及効果の高い産業振興

## 第二期の展開方向

### 第一期の 到達点

生活環境の維持向上と産業振興を支援する各手法を開発

- 生活環境の評価・分析にかかる行政支援ツールの確立
- 地域資源を活かした産業振興支援手法の確立
- 新たな産業の技術移転

残された  
課題

共助による地域のインフラ管理・生活サービス運営の手法の開発・実践が必要  
産業振興支援手法の普及拡大に向けさらなる検証・応用が必要

### 第二期

地域の自立に向けた新たなシステムづくりへ

## 地域の自立に向けた自助・共助・公助の展開

1.生活環境の維持・再編に関する研究（担当研究本部：建築、産業技術、森林、環境・地質）

1)持続性の高い地域 水  
供給インフラの運営・  
再編支援システムの  
開発



1)2)で期待される効果  
低コストで効率的な  
地域運営の展開

2)地域の移動資源を活用した交通システム構築



生活サービス運営手法

インフラ管理手法

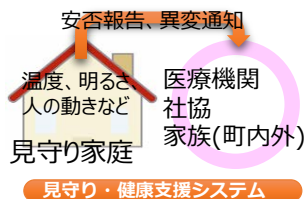
4)地域運営組織の形成・活動プロセスに関する研究



コンサル手法の活用

4)で期待される効果  
「共助」の展開

3)「高齢者見守り・健康支  
援システム」の実用化に向  
けたシステム開発と検証



3)で期待される効果  
高齢者の安全・快適な  
暮らしの実現

## 開発した手法の普及拡大

2.地域資源を活用した産業づくり支援に関する研究

(担当研究本部：農業)

1)住民起業を支える手法の  
確立と検証



1)2)で期待される効果

自治体の産業振興計画立案支援・地域における産業振興推進

2)自治体の事業化戦略を支える  
コンサルティング手法の検証と  
普及拡大

